

WYS交換留学生OG・OBからのひとこと(1)

留学期間中の WYS Student Report 及び留学後の感想文をもとにしています。



南山 さくら 啓明学院高等学校1年時に留学

アメリカ

2018年度WYS交換留学生
アリゾナ州Desert Ridge High School 留学

●今学期の時間割(8月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
7:30 ~ 8:25		数学				→
8:30 ~ 9:25		Life Strategies				→
9:30 ~ 10:30		アメリカ史				→
10:35 ~ 11:30		クッキング				→
12:35 ~ 13:30		コンピュータープログラミング				→
13:35 ~ 14:30		English				→

*2学期制 *来学期取得予定:今学期と同じです
*必修科目: American History, English

●あなたのホストファミリーについて(9月期のレポートより)

私のホストファミリーは、とても優しく明るい家族です。ホストファザーは映画を見るのが好きで、私もよく一緒に映画を見ている。ホストマザーは、働いていますが同時に大学にも通っており、毎日とても忙しいのですが、毎日How was your day?と聞いてくれるので、学校であったことなどを話します。ホストブラザーは、いつも自分の部屋にすることが多く、他の人より話す機会は少ないのですが、学校で同じ授業を受けているので、授業内容について話をしたりはします。彼は、ゲームが好きです。ホストシスターは、音楽を聞くこと、Shoppingが好きです。彼女とは一緒にShoppingに行くなどします。

●ホストスクールでの近況について(11月期のレポートより)

私はよく学校に日本のお菓子を持って行き、友達と食べます。そこで、これはアメリカに有るか、無いかなど日本とアメリカを比較することが多いです。また、私が日本文化についてプレゼンをした時に、見に来てくれた友達のスライドを見て、日本文化についてたくさん質問をしてくれました。日本との違いは、生活スタイル。日本の高校は毎日遅くまで部活をして夜に帰りますが、アメリカは日本より早く学校が終わります。でも、毎日宿題が出ます。そして、テストも多いです。日本では部活、アメリカは勉強に集中しているように感じます。

持ってきて良かったもの
・ビタミン剤 ・洗濯ネット ・単語帳
必要なかったもの
・ファイル ・ルーズリーフ ・運動用の服



坂本 菜子

アメリカ

国立東京学芸大学附属高等学校1年時に留学

2018年度WYS交換留学生
ユタ州Snow Canyon High School 留学

●授業の雰囲気と来期に向けて

(10月期・12月期のレポートより)

宿題はほぼ毎日するので、終わらせるのが大変です。授業では、毎回プリントが配られ、それを終わらせて提出すると、ポイントがもらえる方式になっています。先生方は、皆おもしろく、私の勉強をヘルプして頂いたりしています。また、授業中やることがない時は、「今日は映画鑑賞です」とノリがいいので、アメリカの先生方はとても楽しいです。さて、前期では、宿題など課題が追いつかず、良い成績を取ってしまっていたので、来学期は出来る限り課題に尽力できるよう頑張りたいです。英語力、特にリスニングは上がったと思うので、次にスピーキングを心がけて生活をしていきたいと思っています。

●クリスマスはどのように過ごしましたか(12月期のレポートより)

クリスマスパーティーが3つありました。1つ目は、ホストマザーの仕事仲間が家に来て食事、ゲームなどをしていました。2つ目は、ホストファミリーとグランマ、グランパだけのパーティーでした。メキシコ料理タマレスなどを食べ、プレゼント交換では、一人ずつプレゼントを用意していたので、とても喜ばれました。特に日本を意識した絵柄で金箔がかかっているクリスマスカードが一番うけが良かったようです。3つ目は、親戚全員が集まりました。そこでもメキシコ料理を食べながら、ゲームや雑談などをし、そしてプレゼントを沢山ゲットしました。キリスト教ならではのと思ったのが、12:00になった時に、誕生日祝いの歌を唄ったことでした。ジーザスの誕生日を祝う置物など、とても新鮮でした。また、クリスマス当日の夜もまた食べに出かけたのですが、まさにアメリカンな食事で美味しかったです。良いクリスマスになりました。

持ってきて良かったもの
・ルーズリーフ ・パソコン ・小さな置時計
・小さなお土産(大量は必要なし)

●1日のスケジュール

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
起床・登校	授業・先生との質問タイム									自由	夕食	シャワー・自由						就寝	



原田 みふ美 福岡県立福岡中央高等学校2年時に留学

アメリカ

2018年度WYS交換留学生
ヴァージニア州Osbourne Park High School 留学

●今学期の時間割(8月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
7:30 ~ 8:30		Chemistry				→
8:36 ~ 10:08		English	Government	English	Government	English
10:14 ~ 11:44		H.P.E	Photography	H.P.E	Photography	H.P.E
12:24 ~ 14:08		Spnish	Math	Spnish	Math	Spnish

*生徒数:2200名 *教員数:50名
*2学期制 *来学期取得予定:今学期と同じです
*必修科目:国語(English)系、社会科系、理科系及び数学系の各教科

●日本の学校生活との違いについて(10月期・12月期のレポートより)

アメリカの授業はとてなごやかで、先生と生徒の会話が日本より断然多いと思います。日本はテストで評価されることが多いですが、アメリカは提出物の点数が大きく評価され、日本のように中間や期末などはなく、ユニットごとにテストが行われます。先生は、私が留学生として活躍できるようにサポートしてくれます。こっちは何よりも“発言”が大切だとあらためて実感しています。また、先生が質問したことに答えるのもすごく重要なので、来学期はもっともっとクラス内で発言できるようにしたいと思っています。

●前期の留学生生活を振り返って(1月期のレポートより)

この5ヵ月間、ホントに一瞬だったなあと思います。だんだんと漢字の間違いや忘れが多くなってきたのは、日記などはほぼ書かず、日本語に触れようとしてないからなのかな(?)と思っています(笑)。泣いた目もあるし、悔しくて怒った目もあるし、体調不良の日ももちろんありましたが、もうすでにアメリカに馴染んでいるという気持ちでいっぱいになります。この前、ママ(ホストママ)と話している時に、自分が心の中で日本語ではなく英語で考えているのに気づいてびっくりしました。夢も英語でみるようになってきたので、順調かなと思っています。あと半分、帰る頃に、“さみしい”と思ってもらえるように家族と友達と仲良くしていきたいと思っています。



前田 康喜 東海高等学校2年時に留学

アメリカ

2017年度WYS交換留学生
テキサス州Brennan High School 留学

●留学生生活を振り返って(3月期の報告より)

まず、僕はアメリカに来て本当によかったと思っています。アメリカに来る前は、あまり行きたいと思わなかったし、海外に一度も行ったことがなかったこともあり、不安で仕方がなかったです。実際のところ、最初の頃はとても大変でした。何もかもが初めてで、知らないこともたくさんありました。ただ授業のほうは、それほど難しいとは思いませんでした。アメリカの授業は選択制で、自分にとって難しいと思ったら変更することができるし、内容自体は、日本のほうが進んでいることが多いこともあり、慣れてくれば高得点を取ることもできました。また、先生や生徒も、聞けば何でも教えてくれるので、とても助かりました。学校生活で大変だったのは、友達づくりです。知り合いが一人もいないので、簡単ではありませんでした。しかし、留学生ということに、皆興味を持って話しかけてくる生徒達もいるので、それをきっかけに友達を作っていました。また、僕はサッカー部に所属していたので、そこで多くの友達を作ることができました。そして、今ではサッカー部の友達とゲームをしたり、遊園地に行ったりもするようになりました。サッカーは他校との試合も多くあり、勝ったら勝ったで、皆で一緒に喜びあって騒いだりもしています。僕が思うに、留学生生活は大変なのは最初だけで、あとは普通の高校生活となら変わりが無いということです。部活はシーズン中しかないけれども、試合も多くとても楽しいです。アメリカはハロウィンやクリスマスなどのイベントも多く、とても面白いです。友達とも色々な場所に行ったので、アメリカに来て本当によかったと思っています。



北島 果歩

ニューージーランド

東京女学館高等学校1年時に留学

2018年度4月期WYS交換留学生
ニューージーランドTaruia College留学



●授業や友人作りについて (10月期のレポートより)

教科は1年しかないで、楽しむ教科を多めに選びました。授業は、日本のようにみんなが机に座って受け身でいるというのは見たことがありません。宿題はほとんどありません。アットホームなクラスは本当にいいと思いますが、たまに集中したい時は日本の方が良かったり、両方合わされば良いかなと思います。教科の中ではHistoryが、アセスメントでessayや論文系を書くので難しいです。友達作りは、とりあえずウザがられてもいいから、喋ることなくても、くっつきまわり、少しでも話に関わろうと努力しています。Rangers (ガールスカウト的な)、バスケットボール部、Drama night, Social basketball, Youth church, Basketball camp等の学校活動に参加しました。

●ホストとの会話や相互の配慮について (8月期・9月期のレポートより)

ホストマザーと話すことが圧倒的に多いと思います。その日に学校であったことや、ホストからの話であったり質問であったり特に内容は決まっています。ホストと良い関係を築くには、自分の気持ちを素直に伝えることが大事だと思います。感じてもらうとしても伝わりません。また、日本では兄弟や上下の関係がありますが、ここではほとんどないに等しいので、たまにイライラしてしまうこともありますが、そこは冷静に分かろうとする必要があると思います。

ホストファミリーは、例えば家族で集まる時も私を連れて行ってってくれたり、Are you alright?などと言ったりして気にかけてくれます。一方で、私は、ホストマザーが疲れているの見える時は、手伝いを心がけています。ホストファミリーへの感謝は、Thank youカードや父の日、母の日などにもカードと一緒に渡しています。毎週ではないですが、私のホストは日曜のディナーで、一人一人について I love you because.....と言います。英語なのもあるし、普段口に出して言うことが少ないので、難しいのですが。。。



Host Country の物価

電話：\$20 ジュース：\$5 T-シャツ：\$20
昼食：\$20 ノート：\$3 ボーリング：\$15
映画：\$20

山中 美季

ニューージーランド

2016年度4月期WYS交換留学生
ニューージーランドFeilding High School留学

●今学期の時間割と授業の様子について (4月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:40 ~ 9:00		←----- Group Time ----->				
9:00 ~ 10:00		Hospitality	—	ESOL	English	Math
10:00 ~ 11:00		Math	Japanese	Music	ESOL	English
11:00 ~ 11:20		←----- Interval ----->				
11:20 ~ 12:20		English	Hospitality	Japanese	Music	ESOL
12:20 ~ 13:15		ESOL	Math	Hospitality	Japanese	Music
13:15 ~ 14:00		←----- Lunch time ----->				
14:00 ~ 14:20		←----- Reading ----->				
14:20 ~ 15:15		Music	English	Math	Hospitality	Japanese

*生徒数：1400名 *学年：9学年-13学年

日本みたいにいつも同じクラスのメンバーと授業を受けてはいないので、たくさんの人と話せて、校内で会った時にいつも名前を読んで話しかけてくれます。先生もたくさん話しかけてくれて困っていると助けてくれます。授業中は、すごく賑やかで、授業がすごく楽しいです。

●滞在している地域について (5月期のレポートより)

Feilding (フィールディング) は、パーマストンノースにバスや車で20分で行ける所にあるので、すぐに大きい町へ行けるのでとても住みやすい町です。また、普段の買い物とか、自分が少し出かけた時に遊びに行ける所が家の近くにあるので、休日は充実しています。毎週金曜日は家の近くで、小さい市場が開かれています。今日は雨がよく降っていて、毎日がさを持ち歩いていました。昼間に太陽が出ていても風が強いので、街の人のことはあまりよく分からないですが、ESOLのクラスには中国やネパール、フィリピンの子がいます。人口は28,000人で、高校には1400人の生徒が通っています。



進藤 杏奈

ニューージーランド

2018年度2月期WYS交換留学生
ニューージーランドChanel College留学

●今学期の時間割及び授業風景について (2月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:50 ~ 9:10		Kavalia (朝礼) ----->				
9:10 ~ 10:00		Religious Studies	Business	English	PE	Maths
10:00 ~ 10:50		〃	〃	〃	〃	Science
11:10 ~ 12:00		PE	Science	Religious Studies	Maths	English
12:00 ~ 12:50		〃	〃	〃	〃	Business
13:30 ~ 14:20		English	Maths	Business	Science	PE
14:20 ~ 15:10		〃	〃	〃	〃	Religious Studies

*必修科目：English, Maths, Religious Studies

履修科目については、授業についていけるかはあまり考えずに、自分のやりたい科目や興味ある科目、日本にはない科目を取るようになりました。

授業中はふざけている人はいても寝ている人はいません。先生がずっと話していることはあまりなく、クラスの数も少ないので自由な雰囲気、授業内容は実験のレポートを書いたり、自分で決めたテーマに沿って調べたりする科目もあります。Morning TeaとLunch以外に休み時間はないので、ベルが鳴ってから移動し、授業は5分ほど遅れて始まります。

●英語の上達と今までの留学生活を振り返って (8月期のレポートより)

英語については、最初は話すのが早い友達もいましたが、今では何とも思わなくなり、リスニングとスピーキングでは自分でも上達したと思います。リーディングとライティングは自分では分かりませんが、スピーキングに関しては、ホストママに上達したと言われました。

さて、今までの留学生生活を振り返っては、初めは新しいことばかりで毎日がとても濃かったように感じます。しかし、生活に慣れてくると、気がついた時にはあっという間に時間が過ぎていて、時が経つのはとても早いです。この前来たばかりのように感じますが、もう帰るまで3か月しかないと思うと、今まで以上に充実した3か月にしたいなと思います。また、海外の視点から日本を見ることができ、新たな発見もありました。



松尾 智雅

ニューージーランド

2018年度7月期WYSスカラシッププログラム
ニューージーランドWairarapa College留学

●ホストファミリーとの関係について (1月期のレポートより)

ホストファミリーは、自分の子供と同じように接してくれます。ゆっくり話してくれます。自分からの働きかけとしては、出来るだけ自分から話かける、笑顔でいるということを心がけています。何かしてもらったら、"Thank you" と言うことを忘れないようにしています。ファミリーと会話をした後に、「こう言えばもっと話がふくらんだかな」とか、「こういう事をしたら良かったかな」とまだまだよく思います。

●今までの留学生生活を振り返って (2月期のレポートより)

2018年7月にNZに来て、約7か月が経ちました。この7か月はあっという間でした。3か月過ぎれば、みんな英語がペラペラになるって信じて、余裕ぶっていましたが、そんな簡単にペラペラ喋れるようにはなれないし、その人次第だと今は思います。NZには日本みたいに決まった学年のクラスはなく、授業ごとに先生も生徒も教室が変わります。なので、友達は作りはやはり難しかったです。日本だと海外の人が来たら、みんな集まって話したり、決まった人達と同じ授業を受けたりするので、友達は作りやすいけど、NZだとそういことが出来ないで大変でした。



WYS交換留学生OG・OBからのひとこと(2)

留学期間中の WYS Student Report 及び留学後の感想文をもとにしています。



酒井 りほ 静岡県立浜北西高等学校1年時に留学

イタリア

2018年度WYS交換留学生
イタリア Liceo Statale "Paolo Emilio Imbriani" 留学

●授業の雰囲気について / 特別なイベントについて (11月期のレポートより)
イタリアの学校では、休み時間がほとんどなく教室を出て廊下で皆と話すようなことはありません。教室を出ていいのは1人だけでトイレに行くか、おやつを買いに行くためにみんな教室を出ています。授業は日本と違って生徒が分かるまで1つの問題に時間をかけて解説しています。先生の服装もラフな感じの人も多いです。クラスの人数が20人くらいで黒板が日本より小さく板書する機会が少ないです。今月は、イタリア側の団体の旅行でフィレンツェとピサに行きました。久しぶりに留学生の友達に会えました。同じようにイタリアに留学に来ているのでお互いに悩みや思っている事を話すことができてよかったです。春にはヴェネツィアに行きます。

●家族とのコミュニケーションについて (12月期のレポートより)
家族の中ではホストシスターと良く話します。ホストシスターとは学校が違うので、学校の話をよくします。家族の団欒ではニュースの話が多いです。テレビはニュース、ドキュメンタリー、昔の映画、車の番組 (お父さんが好きなので) をよく見ます。時々、イタリア版のゴッドタレントみたいなものを見ます。家族とは日本と同じようにゆっくりとリラックスして一緒に過ごしています。

●今学期の時間割について (1月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
8:15 ~ 9:15	●	数学		数学	英語	数学	●イタリア語
9:15 ~ 10:15	●	数学		●宗教	●英語	●数学	イタリア語
10:15 ~ 11:15	●	イタリア語		イタリア語	イタリア語	美術	●数学
11:15 ~ 12:15	●	体育		イタリア語	イタリア語	●イタリア語	●理科
12:15 ~ 13:15	●	理科		美術	体育	イタリア語	英語
13:15 ~ 14:55					数学	イタリア語	

●印の時間は、取り出しで留学生達のためにイタリア語のレッスンがあります。



濱田 茜 高崎商科大学付属高等学校2年時に留学

ドイツ

2016年度WYS交換留学生
ドイツ Ernst-Reuter-Schule 1留学

●今学期の時間割について (9月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
7:50 ~ 8:35	GL(歴史)	Mathe(数学)	Frend Sprache	Reli(宗教)	WPk(1/園工)	WPk(1/園工)
8:40 ~ 9:25	GL	Mathe	Mathe	Reli	WPk/1	WPk/1
9:45 ~ 10:30	Deutsch(ドイツ)	Kunst(美術)	Deutsch	Bio(生物)	Englisch	Englisch
10:35 ~ 11:20	Deutsch	Kunst	Deutsch	Bio	Englisch	Englisch
11:40 ~ 12:25	Englisch(英語)	Chemie(化学)	GL		Mathe	Mathe
12:30 ~ 13:15		Chemie	WPk/2(家庭科)	WPk/2	KR(学活・総合)	KR(学活・総合)
13:15 ~ 14:00		Frans Sprache(第2言語)				
8 時間目	Sport(体育)				Physik(物理)	
9 時間目	Sport				Physik	

※必修科目:園工・家庭科・第2外国以外すべてです。*学校作りは楽勝!授業で分からないところを聞く、明るい雰囲気を出したり、日本から持ってきたあめなどを皆に配っています。

●前期の留学生活を通して (12月期のレポートより)

私は、4ヵ月間ドイツ語を母国語としない人達のクラスで勉強しましたが、このドイツ語の授業は特に自分の語学力を上げるのに最適なクラスでした。逆に数学の授業は中1くらいのレベルだったので、計算問題は毎日毎日簡単なものばかりでした。文章問題は最初の頃と比べたら、正解するものが増えた気がします。あと4ヵ月間を振り返ってみると、質問をしている回数が少ないと思うので、今後はもっと積極的に質問もしていきたいです。ホストファミリーの中では、ホストマザーとたくさん話している気がします。主に、宿題やテレビなどを見て分からない単語の意味を教えてくださいました。また、その日あった出来事などを話したりもしています。語学力を上げるためにテレビを良く見るようにしています。ファッションの番組では、Shopping Queenという番組が好きです。

上田 汐夏 啓明学院高等学校1年時に留学

フランス

2018年度WYS交換留学生
フランスLycee des Glieries 留学

●今学期の時間割について (9月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
7:50 ~ 8:45		Acomp Agnent	Francais	Francais	Francais	
8:50 ~ 9:45		Etude	Francais	Chimie	Francais	
10:00 ~ 10:55			Maths	Sport	MPS	Anglais
11:00 ~ 11:55		ENS	Anglais	Sport	MPS	Maths
13:00 ~ 14:05		Anglais	SES			Maths
14:05 ~ 15:00		Histoire	SES		Maths	Sciences
15:10 ~ 16:05		Geographie	Maths		Histoire	Chimie
16:05 ~ 17:00			Chimie			

*学年:9学年-12学年 *始業/就業時間:7:50-17:00 *必修科目:Francais, Maths, Anglais

●滞在地域について (10月期のレポートより)

私はボエジェというところに住んでいて、日本でいう県の名前は、オートサボアです。スイスの首都ジュネーブにとっても近くて、実際に私の家族はスイス国籍です。私の家は、山を少し上がった所にあるので、少し寒いです。10月でもう2回雪が降りましたが、これは例年より早いらしいです。フランスは日本より日照時間が短いように感じます。この地域の人はよくチーズを食べますが、みんな自分の地域で作られたチーズを主に食べるということです。



●テストなど日本との違いについて (11月期のレポートより)

一番違うと感じるのはテストです。日本は、中間考査、期末考査と2回大きなテスト期間がありますが、フランスはチャプターが終わる毎にテストがあるので、回数がとても多いです。また、オプションの授業をいくつか自分達で選択するので、クラスの友達と休み時間が違ったり、違うクラスの友達と授業を受けたりするのも日本と違う点だと感じています。(スクールカウンセラーから提案があり、11月の3週目から学校にあるフランス語の特別クラスに週1回参加することになります。)



●1日のスケジュール

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1
	登校		授業		お昼休み		授業		帰宅	宿題		お昼食・夕食自由							就寝

辛島 れな 福岡県立修猷館高等学校3年時に留学

ベルギー

2018年度WYS交換留学生
ベルギーAtheenee Royal Nivelles 留学 (フランス語圏)

●今学期の時間割について (9月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:15 ~ 9:05	経済	地理	フランス語	英語	フランス語	フランス語
9:05 ~ 9:55	数学	数学	フランス語	数学	フランス語	フランス語
Break	9:55 ~ 10:40	体育	オランダ語	オランダ語	オランダ語	倫理
Lunch	10:55 ~ 11:45	数学	英語	歴史		CPC
	11:45 ~ 12:30	経済	英語	歴史	歴史	生物
	13:15 ~ 14:05	PES	オランダ語		経済	英語
	14:05 ~ 14:55	物理	フランス語		経済	体育
	14:55 ~ 15:45	PES	科学			体育

●クリスマスはどのように過ごしましたか (12月期のレポートより)

ホストファミリーの家族全員 (20人以上) 集まって、21:00ごろからクリスマスの食事を食べ始めました。大量の前菜、ポテトチップ、スープ、サーモン、うさぎ肉、グラタン、沙羅、たくさんの種類のチーズ、クリスマスケーキ & アイスを食べました。とても美味しかったです。みんなマイペースだったので、食べ終わったのは3:00くらいでした。日本のお正月のようでした。プレゼントの交換もしました。

●フランス語の上達及び今までの留学生活を振り返って (1月期のレポートより)

フランス語は上達しました。毎月一冊本を読んだり、寝る前に必ず単語帳を読んだりしています。そして誰よりも勉強していると自信が持てるくらい勉強しています。留学したことによって、言語を学ぶだけでなく、今まで日本の生活であたりまえに家族がしてくれていたことのありがたみを知ることができました。自分が将来やりたいことははっきりしました。また、人種の違う友達と、意見交換などを毎日していることで、様々な考えがあることを学びました。留学は楽しいものだと思っていたけれど、辛いことも沢山あるということも知りました。帰ったら、きっと楽しい思い出が残ると思うので、あと5ヵ月頑張りたいです。



WYS交換留学生OG・OBからのひとこと(3)

留学期間中の WYS Student Report 及び留学後の感想文をもとにしています。



園岡 さくら 千葉県立長生高等学校2年時に留学

2017年度WYS交換留学生
ノルウェー Gausdal Videregaende Skole留学

●今までの留学生生活を振り返って(3月期の報告より)

楽しかったことについて これまでで楽しかったことは、ノルウェーで体験しているいろいろなアクティビティです。日本の生活と異なり、スキーやスノーボードなど冬スポーツを楽しんでいます。ノルウェー人は外に出てスポーツをするのが大好きなので、休日は基本的に外に出ます。インドア派だった私も沢山の新しい経験をしています。そしてノルウェー人は細かいことは気にしない、とてもマイペースな人達です。学校に部活がなく、休日は好きな時間に起きて、映画を見たり、料理をしたり、家族の人達と話をしたりするなど、とても充実した休日生活を送っています。マイペースな私にはうれしいうれしい限りです。留学前は、ノルウェーの人は誰も日本のことなんて知らないだろうと思っていたのですが、日本の車が人気だったり、高校生はアニメを知っていたり、日本に興味を持ってくれる人も多かったです。放課後や、休日に日本語とノルウェー語を教えあったりします。また、ノルウェーには海外から移ってきた人達が多く暮らしていることもあり、いろいろな言葉や文化が学べます。これも日本ではなかなか経験できないことだと思います。

大変だったことについて やはり語学(言葉)です。最初は、喋ることも、聴いて理解することも出来なかったのですが、授業や休み時間に友達と話していることが分からず本当に大変でした。誤解が生まれ、何をすべきか分からなくなったりもしました。大事なことは、疑問や分からないことがあれば、質問をすることです。躊躇して聞かないでいると、後でもっと大きな問題に発展していきます。沢山の質問をするのは友達に悪いかなんて思ってしまうのですが、だからこそ自分で勉強してもっと自分で理解出来るようにしようと思えます。そして、宿題も大変です。レポート作成が多く、文章を作るのが大変です。日本語で考えて、英語にしてからノルウェー語に訳していきます。この方法で長い文章を作るのは、本当に時間がかかります。ホストファミリーに手伝ってもらったり、先生に相談したりしています。

残りの留学生活について 残り約3ヶ月、ホストファミリー変更もあったので、あたらしい家族と仲良くなりたいです。周囲の人達と沢山の会話がしたいので、ノルウェー語も頑張りたいです。行ってみたいところに、ホストファミリーや友達と一緒に制覇していくのも楽しみです。残り少ない時間を大切に、後悔しないよう楽しく過ごせるようにしたいです。

ノルウェー

平川 あかね 品川女子学院高等部2年時に留学

2018年度WYS交換留学生
スウェーデン Gransalvsgymnasiet 留学

●学校の評価について(10月期のレポートより)

定期テストはなく、各教科、単元のチャプターごとの確認テストでA~Eの結果が出ます。その積み重ねです。保護者や生徒はSchool Softというもので出席やテストの結果を見ることが出来ます。あとは、スクールイヤーの一年間に2回、三者面談があり、保護者、メンターの先生、生徒で今どんな調子か話合います。私も11月にやりました。その時に各教科の先生からコメント付きの紙がもらえます。そこにはテストの結果だけでなく普段の授業の様子などが書かれています。評価は主にこの二つです。

●前期を通して/時間の流れについて(12月期のレポートより)

あっという間に4ヶ月が過ぎてしまいました。日本を離れた時から成長したのかというと、自分ではよく分かりません。ただ、日本にいる時は出来るのにならなかつたことが多かったのではないかなと思います。それは勉強にしても日常生活にしても、周りに甘えていた部分は多かったという感じだと思います。ここでも同じ24時間が流れていますが、寝ること以外はほとんど違います。日本にいるより自分で考えて行動しなくては行けない時間の比率が圧倒的に多いです。英語やスウェーデン語など自分が勉強したいことを好きなだけ勉強してよくなったり、何もしないでリラックスする時間が増えたりして、この時間の使い方で大丈夫なのか、自分は良くやっているのか、怠けているだけなのかよく分からなくなることがありました。今でも時間の使い方に悩むこともありますが、ここで生活を楽しめるように、自分で考えながら、やらなきゃいけないことはしっかりやっていきたいと思います。

スウェーデン



永田 伶亜 神奈川県立麻生高等学校2年時留学

2018年度WYS交換留学生
フィンランド Oulunkylän yhteiskoulu 留学

●Term 2 (10/2 ~ 11/28) の時間割について(10月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:15 ~ 9:05			英語②	社会		英語①
9:40 ~ 10:55	バイオロジ	スポーツ	英語②	バイオロジ	スポーツ	
10:55 ~ 11:40	Lunch	Lunch	スポーツ	Lunch	Lunch	
11:40 ~ 12:55	英語②	美術	Lunch	美術	美術	美術
13:05 ~ 14:25	社会	バイオロジ	英語①	英語②	社会	

●前期の留学生生活を振り返って(1月期のレポートより)

フィンランドに来て特に不自由なことはありませんが、日本は便利すぎるなと思いました。電車のシステム、コンビニの数、ゲームセンターなどの娯楽施設など、日本は発展しているがゆえに便利すぎる一面があると感じています。ところで、ホストファミリーに『日本は外国人観光客が多いのに何でみんな英語が話せないの?』と聞かれました。確かに日本に来る外国人が多いのに何で話せないのかと考えてみました。フィンランドでは小学5-6年生でも英語を流暢に話しているし、テレビ番組でも英語の字幕でフィンランド語のスタイルが多いです。また、親が子供に英語を教えたり、学校でも生徒同士が普通に会話をしたりしています。日本には、英語が話せないから留学したくないと思っている人も多いと思いますが、実際そんなに英語上手じゃなくても大丈夫だし、どんどん海外に行った方が日本の英語力も上がるし、自分の可能性が広がるともとてもいい経験になると思います。



養覚 ほのり 桃山学院高等学校2年時に留学

2016年度WYS交換留学生
フィンランド Muhoksen Lukio 留学

●ここまでの留学生生活を振り返って(12月期のレポートより)

ホストファミリーの中で一番話すのはホストマザー、ホストファミリーは海外旅行が好きで沢山の国へ行っているの、そういう話をよくします。夜は毎日、30分は家族とニュースを見ます。映画は、ディズニーが多いです。フィンランドでは、フィンランド語、英語、スウェーデン語のテレビ番組があります。さて、これまでの留学生生活を通して、フィンランド語、フィンランド人の生活はもちろん、それ以上に学んだことは、家族と長い間離れて生活をし、今まで母にどれだけの手をもらって、どれだけ甘えていたかが分かりました。あと、自分の長所、短所がすぐ分かるようになりました。フィンランドで生活をして自分の意見を今までより言えるようになったと思います。来年は今年以上に、積極的にフィンランドと会話し、もっとフィンランド語、フィンランド人を知りたいと思っています!

フィンランド



久保田 伶菜 大阪府立生野高等学校2年時に留学

2017年度WYS交換留学生
スウェーデン Jenny Nyströmskolan 留学

●今学期の時間割について(8月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	---	ホームルーム	数学	写真	芸術的コミュニケーション	
2	芸術的コミュニケーション	美術	体育	スウェーデン語	スウェーデン語	美術
3	数学	英語	英語	数学	体育	美術
4	美術	歴史	歴史	歴史	歴史	

*生徒数:1000人 学年:10学年~12学年 学期制:2学期制
*必修科目:スウェーデン語・数学・英語
*始業/就業時間:8時10分~16時40分(日によって変わる)
*周辺の環境:都会でも田舎でもない、少し行けば、ショッピングモールと森がある。隣にもう一つ学校とスポーツセンターがある。

●授業の雰囲気やユニークな授業について(10月期・11月期のレポートより)

学校の雰囲気は、とても自由な感じ。トイレや電話で、黙って教室を出ていくのが普通です。授業中にイヤホンで音楽を聞くのも、個人作業の時は大音量で音楽をかけるのも許されています。日本では、先生の方が高い立場にあると私は感じますが、ここでは生徒の態度が大変いいと思います。ユニークな授業では、Estetisk Kommunikationが週に一度あります。毎回違うことをします。体を作って感情を表したり、マッサージをしたり、サーカスを見たりします。先生はいつもリラックスして出来るように心がけてくれます。なので、この授業は教室ではなく、ダンスホールみたいなどこです。

日本から持ってきて良かったもの

- ・フリクションのボールペン
- ・日本のお菓子(じゃがりこ、ハッピーターンが人気でした)
- ・折り紙
- ・日本文化を紹介している絵本

必要なかったもの

- ・ヒートテック(必要だけとそんなに大量にはいらなくて)

